

8月9日～11日、国立大洲青少年交流の家にて「愛媛ブルーランドサマーキャンプ」が開催されました。

インスリン注射を行っている小中学生のキャンパー22名と、キャンパーを支える医療スタッフとして、小児科医、内科医、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、検査技師、医療メーカーなど、各専門分野から50名以上のスタッフが集結し、多職種連携チームとして子どもたちを支える充実した3日間となりました。

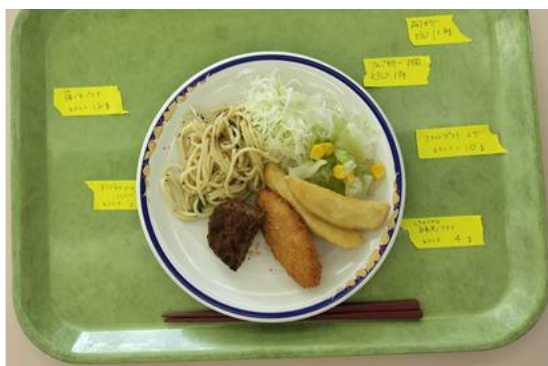
■ **栄養士チームの主な役割** キャンプ中での栄養士の大切なミッションは、子どもたちが安心してキャンプを楽しめるよう、「毎食の糖質量の計算」を行う事です。

これは、子どもたち自身が食べる量を考え、必要なインスリン量を決めるための大切なサポートです。子どもたちが自分で考え、勉強しながら食事を楽しめるようにすることも、私たちの大切な役割です。そして、特に盛り上がったのは2日目の調理実習！今年は、子どもたちの夢がぎゅっと詰まった「オリジナルパフェ」を一緒に作りました。自分で計算・工夫しながら作るパフェに子どもたちの笑顔が弾け、美味しく食べた後はエアロビクスで汗をかき、1日の振り返りまで笑顔あふれる時間を共有できました。

■ **参加してみて感じたこと・次回への呼びかけ** 普段の臨床や現場を離れ、多職種とリアルタイムで連携しながら子どもたちの「食と生活」に寄り添う経験は、栄養士として大きな学びと刺激になります。何より、子どもたちが楽しく食べる姿からたくさんの元気をもらえます。

「興味はあるけど、少し不安...」という方でも大丈夫です！キャンプ常連の栄養士を中心に、みんなでフォローし合いながら楽しく活動できます。次回はぜひ、まだ参加したことがないあなたのご参加をお待ちしています！一緒に素敵な体験をしませんか？

食事の見本を作成し糖質量の計算をします



調理実習の様子



子供たちの夢のデザート作成



沢山食べた後の運動



一日の振り返り

